



|              |   |
|--------------|---|
| Title        | 本研究会の活動（2018年3月～2019年3月）  |
| Author(s)    |   |
| Citation     | 詞林. 2019, 65, p. 103-103  |
| Version Type | VoR   |
| URL          | <a href="https://hdl.handle.net/11094/71730">https://hdl.handle.net/11094/71730</a> |
| rights       |   |
| Note         |   |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

本研究会の活動（2018年3月～2019年3月）

第289回 4月28日（土）

文集百首における慈円・定家の結題詠的詠法について

黄 夢鶴

流布本『狭衣物語』、「それがしがめ」をめぐる

— 巻二を再考する端緒として — 小林 理正

第290回 5月19日（土）

お伽草子『木幡狐』考

— 異類を通して表現された女人救済思想 — 大野 暖奈

歌ことば「たのむ」の変遷 蒲 姢艶

第291回 7月21日（土）

桜の唐の綺の御直衣

— 一行幸巻における光源氏の装い — 後藤 京

『河海抄』における『李部王記』引用の一経路

— 『花鳥余情』利用という増補過程の可能性 — 松本 大

第292回 9月22日（土）

落葉の宮物語

— その呼称に着目して — 後藤 京

藤原為家の『下官集』享受考

— 私撰集および仮名書状の表記を手がかりとして —

石村 小春

第293回 10月27日（土）

『土左日記』一月二九日条における「とさの泊」と詠歌

北島 紬

『花鳥余情抄出』と宗祇の源氏学

松本 大

第294回 11月24日（土）

柏木をめぐる「むすぼほる」

— 胡蝶巻、柏木巻、匂兵部卿巻の場面 —

和泉 杏奈

歌語「花のかげ」について

蒲 姢艶

第295回 1月26日（土）

東山御文庫蔵源氏物語（各筆源氏）からいえること

— 平安期書写本における和歌書式推定の試み —

小林 理正

第296回 3月23日（土）

あやめ草の新側面

為家本資料の書写者についての一試論

蒲 姢艶  
石村 小春